

レファレンスだより 2014年11月号 No.144

福岡市総合図書館 図書サービス課 相談係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報誌です。

■レファレンス受付件数 (2014年8月分)

参考	人文	社会	自然	郷土
53	1,785	434	398	497
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
741	173	2,262	1,651	7,994

(開館日 27日 一日平均 296件)

今月の特集!

アートを味わう秋

秋たけなわ。福岡の美術館、博物館で様々な展覧会が行われています。そこで今月はそれぞれの展覧会に関連した本を紹介します。

福岡市博物館

「九州仏～1300年の
祈りとかたち～」
～11月30日(日)

『福岡県の仏像』(アクロス福岡文化誌編集委員会/編
アクロス福岡 2014年) タイトルコード: 1000001237023 (総合図書館他)
県内の代表的な仏像が地域別に分けられ解説されています。
『仏像のお医者さん』(飯泉 太子宗/著 PHP 研究所 2014年)
タイトルコード: 1000001222850 (東図書館、中央図書館)
著者は仏像修復師。現場のリアルな話が満載です。



福岡市美術館「更紗の時代」
～11月24日(月・祝)

『インド更紗入門 (新技法シリーズ 35)』
(大西 浩子/[著] 美術出版社 1980年)
タイトルコード: 1005010034389 (総合図書館)
インド更紗の歴史からデザイン、染め方までわかります。

福岡アジア美術館

「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ 2014」
～11月30日(日)

『アジアの美術 改訂増補版』
(後小路 雅弘(ほか)/執筆 美術出版社 2002年)
タイトルコード: 1000210016462 (総合図書館他)
副題は「福岡アジア美術館のコレクションとその活動」
アジアの近現代美術全体を見渡すことができます。

太宰府まで足をのばして…

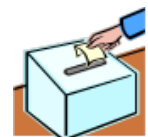
九州国立博物館

「台北 國立故宮博物院-神品至宝」
～11月30日(日)

『台北國立故宮博物院を極める』
(板倉 聖哲(ほか)/著 新潮社 2009年)
タイトルコード: 1000000464891 (総合図書館他)

11月16日(日)は福岡市長選挙の投票日です

総合図書館・2階、社会の展示架では“地方自治”の本を特集しています。



記されている方位測定方法を紹介している。水平の地面に垂直な棒を立て、その陰影が午前・午後とも等しい長さになる両先端を結べば、その線分は正東西を指示することになる。つぎに、垂直棒の地点と太陽の午前・午後とも等しい長さになる陰影を結んだ線分の中点を結べば、正南北を指すことになるとある。

■測量や単位に関する資料を調べる

『講座・日本技術の社会史 第6巻 土木』

(永原 慶二・山口 啓二／編 日本評論社 1984年) 2階 E13 502.1/3

測量技術の章で周髀算経の方位測定法について触れている。太陽の影を測る棒を立て、日の出の時と、日の入りの時の影を記し、その先端を結ぶ線が東西線となるとあるが、日の出・日の入り時の影は無限大であり、それが一直線をなすのは、春分と秋分の日の年2回しかないのでは、実用的ではないとある。周髀算経には寺院の伽藍中軸線や都の地割線などの方位を決めるときに必要な天体観測の方法が示されているため、測量業務に従事する者には必須の書物だった。



Q: 外務省・国際連合協会主催の中学生作文コンテストに応募したいので参考になる資料を探している。
(国連)

テーマは、(1)もしも私が国連事務総長なら国連で何をすべきか (2) 世界の平和と繁栄のため、国連が重視すべき取組、(3) 東日本大震災の経験を踏まえ、日本が国連で果たすべき役割の3つから選択。国連について分かりやすく解説しているもの、また世界が直面している問題に国連がどう対応していくかという観点から作文のヒントになるのではと思われる資料を紹介。

■所蔵資料

『UNIC(国連広報センター)は日本における United Nations(国際連合)の情報発信拠点です』

(国際連合広報センター 2008年) 2階国連 A2

国連の基礎知識とともに、気候変動問題など日本政府がいま力を入れていることを項目ごとに紹介。

『写真集「世界で働く日本人国連職員」 Photo book "Japanese UN staff in the world"』

(国際連合広報センター 2007年) 2階国連 A2

日本の国連加盟50周年を記念して作られた写真集。世界各地で働く国連職員の仕事ぶりが写真とキャプションで分かりやすく表され、国連が行っている多様な活動を知ることができる。

『60 ways the United Nations makes a difference』 (United Nations 2005年) 2階国連 A2

1945年の創設以来、国連とその構成機関が達成してきた成果と展望を60項目に挙げて解説。

『国連が世界を変える60の方法』(国際連合広報センター 2005年) 2階国連 A2 上記の日本語版

『東日本大震災に学ぶ「東北から世界へのメッセージ」: 持続可能な社会をめざして』

(国際連合広報センター 2012年) 2階国連 A2

大規模災害を通じて得た日本の経験・知見を世界の国々と共有するために作成された小冊子。被災地の復旧や持続可能な社会の再生に向け、5つの提言としてまとめている。日英2ヶ国語で表記。

■インターネット

国際連合広報センター【<http://www.unic.or.jp/>】

国連に関する基本情報や、国連と世界の動きを知ることができる。



※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『図説明治事物起源事典』（湯本 豪一／著 柏書房 1996年）2階 C9 R031.4/1

明治時代には、日本に西洋の文化が流れ込み、「文明開化」が起こりました。この時期に次々と生まれてきた新しい物事や制度について、成り立ちや歴史を知ることができる事典です。

200の事項を「政治・経済」「社会・生活」に分け、詳しく解説しています。項目ごとに当時の写真や絵、漫画も載せているので、雰囲気がつかみやすくなっています。

使ってみました⇒ “水族館” を調べる！



索引を引くと、社会・生活編、レジャー・スポーツ・芸能の項目に記載があることがわかります。

水生生物を生きたままに展示する施設はヨーロッパでは紀元前からあったものの、今日のような大規模な水族館が造られたのは1850年代以降のことでした。

日本では、1882（明治15）年に開園した上野動物園内に、「ウオノゾキ」という簡単な水槽が設置され、コイ、フナなどが展示されました。

現在のような本格的な水族館は、明治32年、東京浅草公園内で共栄館という勧工場（現在のスーパーマーケット）の建物を改造したものがはじまりです。

館内は入るとすぐにトンネル状の通路があり、大小11個の水槽が側面にうめこまれていました。水族館は連日の大盛況。まるで竜宮城にいるような光景に、人びとはわれを忘れて見入ったそうです。



今月の展示 ～総合図書館2階 展示のご案内～

毎月3つの部門でテーマ展示をしています。是非ご覧ください。

人文科学「ジャーナリズム」

社会科学「地方自治を考える」

自然科学「収穫の楽しみ：グリーン・ツーリズム」



貸出もできます。
この機会にどうぞ
お立寄りください。



子ども読書フォーラムが開催されます！

～親子で本を楽しもう！本で遊ぼう～

親子で本を楽しめる催し「福岡市子ども読書フォーラム」がアミカスで開催されます。おはなし会やレクリエーションなど、盛りだくさんの催し物が楽しめます。

日時 12月6日(土曜日)11～16時

場所 アミカス(南区高宮3丁目3-1)

※詳しくは館内のポスター、チラシをご覧ください

どなたでも無料でご参加いただけます。

お気軽にお越しください！